

## 令和4年度第1回中央区地域包括支援センター運営協議会公開議事録

1. 開催日時 令和4年8月10日(水)午後1時30分～午後3時

2. 開催場所 中央区役所(新庁舎)801会議室

3. 出席者 委員9名 事務局4名 傍聴者0名

### 4. 議題

(1) 令和3年度中央区地域包括支援センターの運営状況報告

① 地域包括支援センター月別実績報告書

② 地域ケア会議について

③ 地域包括支援センターの連絡会等実施状況

(2) 令和4年度中央区地域包括支援センターの事業計画書について

(3) 区運営協議会の見直しについて

(以下非公開)

(4) 特定事業所へのサービス集中度について(非公表)

(5) 地域包括ケア充実のための事業目標(非公表)

### 5. 当日出された意見及び事務局回答

(1) 令和3年度中央区地域包括支援センターの運営状況報告

① 地域包括支援センター月別実績報告書

〈委員〉

相談実績について、新型コロナウイルス感染症の流行の影響がでているものはあるか。

〈事務局〉

高齢者虐待や消費者被害の対応件数が増加している。特に消費者被害については、全市ではあるが令和3年6月25件、12月は16件と非常に多く、自粛により在宅の高齢者を狙った特殊詐欺が増加したと考えられる。

〈委員〉

コロナ禍の影響で人と人とのつながりを持てる機会が少なくなったということだが、実際に独居の方の孤独死が増えているのか、統計等あれば聞きたい。

〈事務局〉

統計や情報は現在持っていないので、改めて回答する。

③ 地域包括支援センターの連絡会等実施状況

〈委員〉

9月3日「オーラルフレイルチェック事業について」とあるがどのような内容か。

〈事務局〉

新規事業。歯科口腔保健センターから説明があった。対象者は65歳以上の市民。対象者に案内が送付される。内容は口腔機能チェックと保健指導。相談があった場合は、制度の紹介をするよう説明があった。

(2) 令和4年度中央区地域包括支援センターの事業計画書について

〈委員〉

「みまもろう」ステッカーとは何か。

〈事務局〉

後ほど現物を提示する。もともと、全市で「認知症サポーター店」という制度があり、登録のために認知症に関する研修を受ける必要があった。中央区の場合、個人商店も沢山あり、そのような商店ではなかなか研修を受けてまで、「認知症サポーター店」になって見守りの協力をするのが難しいという現状がある。ただ、見守りをしたいという気持ちがある商店は沢山あるので、そういう店舗に対して「みまもろう」ステッカーを作った。この制度は研修を受けなくてもステッカーをわたすことができる。区から情報提要进行をしたり、気になる高齢者がいた場合はあんしんすこやかセンターに連絡いただくことになっている。

これからステッカーを配布し、見守りの商店を増やしていこうと思っている。

〈委員〉

各地域包括支援センターが、コロナによってどのように影響を受けたのか明記した上で令和3年度の事業計画を作成したという具体的な資料があれば、比較検討ができるのではないかと。地域包括支援センター運営協議会は運営の公平中立性を問う会ではあるが、基準がはっきりしないため、影響があるかどうか明示した方がよいと思われる。

〈事務局〉

具体的な数値は確認していないが、センター連絡会で地域包括支援センターに状況を確認することがある。先月、確認したところ、相談件数は増えているという意見があった。新型コロナウイルス感染症の流行も3年目に入るため、感染対策をして外出しようとしている人も増えている。一方で相談先がわからず、とりあえず地域包括支援センターに相談する人が多く、件数が増えていると区と地域包括支援センターでは分析している。

〈委員〉

令和2年に地域包括支援センターのIT化が必要だということで予算がついている。地域ケア会議や事業所間の連絡をZOOMでやる等工夫ができています。その点が事業計画に盛り込まれると良いと思う。それが、公の会議以外にも地域の支援者相手にもできており、今までやったことのない会議の方式を取り入れたこと等はこの2年間のすすんだところだと思う。

### (3) 区運営協議会の見直しについて

〈委員〉

資料に「地域包括支援センターの運営で問題が生じた場合等に随時開催することとする。」とあるが、どの機関が「問題が生じている」と判断するのか。また問題が生じなければ開催はしないのか。

〈事務局〉

各区の地域包括支援センターの業務の公正中立性は市地域包括支援センター運営協議会（以下市運営協議会）で確認することになっている。区地域ケア会議等で公正中立性が担保されていない等の意見があれば、区で判断して随時開催すると考えている。そのため、委員については区地域包括支援センター運営協議会（以下区運営協議会）も継続して委嘱を行う予定としている。

〈委員〉

市運営協議会が必要だと認めて、初めて区運営協議会の開催ができるという解釈で良いか。

〈事務局〉

市運営協議会から依頼があった場合だけではなく、区地域ケア会議等、各団体が入っている会議の中で、地域包括支援センター業務で課題とすべき内容があった場合に随時開催できるとなっているので、市又は区で必要と判断した場合に開催することとなっている。また、公募の前年には開催するとなっている。公募が令和8年度に行われる予定ですので、令和7年度には区運営協議会を開催する予定となっている。

〈事務局〉

今回いただいた意見を市運営協議会に報告することになっている。開催の要件がはっきりしないのではないかとという点では、報告しようと思っている。

〈委員〉

過去に区運営協議会を臨時開催したことはあったか。今後、問題があった時に臨時開催されるということであれば、頻繁に開催される可能性があるか。

この2年間は新型コロナウイルス感染症が流行した、特別な期間であったため、区運営協議会の開催の可否を判断について意見を述べるのは難しい時期だと思う。

〈事務局〉

今後の開催頻度等、詳細は決定していない。今後決定したら、検討する際の参考としたと思う。

〈事務局〉

現在のところ、2回/年以上開催した実績はない。

〈委員〉

問題が発生した時に開催するのは悪くないと思うが、誰が問題と決定するのは難しいと思う。

区運営協議会が定期的に開催されなくなった場合、「あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）事業計画」をどのようにして確認することができるのか。地域包括支援センターは事業計画書を書くために、すごく時間と労力を要している。区運営協議会がなければ、それを誰も目にすることが無くなるのではないか。開催回数等の検討の際、地域包括支援センターがどのような活動をしているのか、周知していただけるか検討して欲しい。

〈事務局〉

現在、非公開の部分以外は、区運営協議会の資料として神戸市のホームページに掲載されている。今後、随時開催の際、どのように掲載されるのかというところを介護保険課に確認したいと思っている。

## （6）その他

〈委員〉

会議が始まった頃は、地域の意見として、意見を出せたが、会議が高度化すると、私たちではなかなか立ち入れなくなる。少し前に地域ケア会議に参加したが、意見が飛び交うのではらはらする。